

第 4 回懇談会, これまでの協議会での意見のまとめ【国分寺街道沿道のにぎわいの創出】

○ : これまでの協議会等での意見
 ★ : 第 4 回まちづくり懇談会での意見

【安全なまち】

- 安全のための交通規制を検討する
- ★地元住民が駅への往来に利用できる道としていく。
- ★道が重要になってくるので、早く計画が実行されるとよい。
- 部分的に車両通行止めにしたイベントの開催
- ★通りを活用したイベントを企画する。
- 自動運転の実験でみちを使う。

【商店街】

- 歩きやすい商店街にする。
- ★食べ歩きのできる店舗がある道（環境）になるとよい。
- ★街灯や遅くまで開いている店があることで、夜でも歩きやすくする。
- ★小さな道の駅のような場所をつくり、こくベジを販売する。
- ★空き店舗を活用する。
- ★「こくベジ」を使ったお弁当、直販店が来訪しやすいところにあるとよい。
- ★地元産直・名物品のお店を国分寺街道に集結させる。こくベジ販売店を立地させる。
- ★時間帯によって違う魅力を出す（朝：モーニング、昼：カフェ、夜：バーのような）。
- ★駅から近い野川の北側はお年寄りが集まる店舗、野川の南側にはクラフトショップなどを集積させ、個性のある場所にする。
- ★寄り道しやすい店や公園をつくる。
- 歴史的なまちなみにする。
- 歴史的資源と商業を組み合わせる。
- デザインに配慮した街灯・サイン・看板の設置、電柱を活用した商店街の活性化。
- ★国分寺史跡・お鷹の道に通じる門前商店街を形成していく。
- ★国分寺街道で稲作（目につくもの）を行う。

【情報発信】

- まちの情報発信。
- 国分寺街道のイメージをアピール。
- ★地域にどのような店舗が立地しているのかわからないので、地域情報をオープンにし、発信していく。それによって、新規参入しやすくなる。
- ★学生向けの情報発信がほしい。
- ★国分寺街道にどんな店があるのか、看板、マップ等でわかりやすくする工夫が必要。インターネットで情報発信するのもいい。
- ★国分寺街道の認知度が足りない。もっと知ってもらわなければならない。

【その他の取組】

- ★若い人たち・学生（小・中・高・大）の柔軟なアイデアを引き出す。
- ★地元住民、学生、子どもが遊ぶ場所をつくる（アスレチックができるような広めの公園など）。
- ★ツインタワーの住人に国分寺街道に来てみたいと思わせる工夫をする（こいのぼりとか、何か高いものがあると上から見える）。
- ★工事用の仮囲いを工夫してまちの声を載せてもいい。地域の人の紹介や今ある国分寺街道の特徴をアピールする。
- ★インスタ映えするような写真スポットは、若者だけでなく多世代で利用できるようにテーマでつくる。
- ★野川の整備を行う際に、例えば、地元の小・中学生に協力してもらってタイル等に絵をかいたものを貼れば、親しみやすい空間ができ、国分寺に初めて訪れた人にもいい。



【一里塚バス停周辺やバスの活用】

- 国分寺街道への通過交通の抑制と歩行者を国分寺街道に引き込むための入口の工夫。
- ★公共交通を利用されるお年寄りのリピーターを呼ぶために、バス停付近に店舗・利便施設を集積する。
- ★ぶんバス車内で地域のお店を紹介する。

【不動橋・野川周辺】

- 不動橋周辺の活性化拠点。
- 不動橋周辺の新しい店舗の活用。
- 不動橋周辺の水辺・緑の資源の活用。
- ★不動橋（国分寺街道と国 3・4・11 号線の分岐点）のところに商店街やイベントができるような場所があるといい。
- ★野川と国分寺街道が交差する辺りは、緑や水辺に触れることができるようにする。

【史跡エリアとの連携や来訪者への施設設置】

- 駅から来る人のルートを検討し、周辺も含めたにぎわいづくり。
- 来訪者、散策ルートに必要な案内所、トイレの整備
- ★歴史散策のルートなどで人を呼ぶためにはトイレを設置する必要がある。
- 駐車場の確保
- 自転車シェアリングスペースの設置。

【コミュニティの形成】

- ★イベントを行って、リピーターや顔見知りを増やしてコミュニティの輪を広げることでもちがにぎわっていく。
- ★イベントが終わったあと人と人をつながられるようにする。
- ★昔の遊びなどのイベントを開催して、地域コミュニティや世代間の交流を深める。
- ★学生と市民の交流の機会を増やせるイベントを開催する。

【エリアマネジメント】

- まち全体をマネジメントしていく、まちづくり会社などの組織化。
- にぎわいの火付け役を担う人。
- まちづくりのルールづくりと取組み。
- 地区計画の活用に対するインセンティブの検討。
- ★まちをフィールドとした授業を行い、若いうちから「地域愛」を育てる。地域のことを考えるクセをつける（講師は外部の面白い人。授業内容はお任せ）。

【学生との連携】

- 東京経済大学と連携した学生のアンテナショップ・チャレンジショップの出店。
- ★学生の力を活用した店舗づくりを展開する。
- ★学生が主体となる（カフェの運営など）ことで、学生と地域の方々のコミュニティが形成される。
- ★学生が運営しているカフェがあると、学生も立ち寄りやすい。
- ★学生主体で運営することによって、学生を呼べる。
- ★現役学生の運営を長く継続させていくための工夫が必要。
- ★地元の応援も必要。

【居住促進】

- 高齢化が訪れる時期が重ならないよう、多世代を呼び込む工夫。

【イベント】

- ★市、マルシェを定期的（決められた曜日など）に開催する。
- ★定期的にイベントを開催する（ターゲットを絞ったものを毎月変えて行う）。
- ★国分寺街道の歴史を浸透させるようなイベントがいい。
- ★国分寺街道に来た人が楽しめる、地域に住んでいる人も楽しめる通りとしてのイベント。
- ★わかりやすいハード面だけでなく、ソフト面としてのイベント。
- ★国分寺市と府中市でつなひき大会を行う（勝つと市境、街道名が変わる）。
- ★ハケの坂道を活用する（仮装して歩くおまつり、流しそうめん、自転車滑走大会、スケボー、ポプスレー、飛ぶ鳥人などのイベント。すごく短いケーブルカー）。
- ★こくベジレシピアイデアコンテスト。
- ★こくベジのイベントを開催する（パンフレット、ポスターなどで PR。農家さんのこだわりなどを紹介。こくベジを使った料理）。
- ★年齢層をしばったイベントもよい。
- ★シニア世代が運営するシニア世代のためのイベント。